

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70145
事業名	安全・安心な道路環境の整備費					
評価担当課	所 属	建)土木部 道路課			電話番号	211-2617
施策名	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	超高齢社会を迎えるにあたり、誰もが安心して積極的に社会活動に参加できる共生社会の実現に向けて、歩道のバリアフリー化や交通事故対策、通学路の安全対策が求められている。また、平成30年及び令和2年にバリアフリー法が改正され、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「共生社会の実現」や「社会的障壁の除去」、「心のバリアフリー」が進められており、本市においても、更なる高齢社会の到来や共生社会の実現に向けた機運の高まりにより、特に歩道のバリアフリー化への関心が高まっている。 札幌市では、平成15年に「札幌市交通バリアフリー基本構想」を策定し、公共交通を中心としたバリアフリー化の整備に取り組み、令和4年度には「札幌市バリアフリー基本構想2022」を策定し、共生社会の実現を目指し着実に整備を進めている。
	事業内容(何を実施し)	①歩道のバリアフリー化 令和4年度に策定した「札幌市バリアフリー基本構想2022」における対象延長289kmのうち、約6. 1km実施した。 ②交通事故対策 事故危険箇所対策実施に向けた用地買収及び設計を実施した。 ③通学路の安全対策 平成27年度に策定した「札幌市通学路交通安全プログラム」に基づき各小学校から抽出された要望箇所に対し、「札幌市交通安全対策調整会議」において対策案を協議・決定した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	誰もが安心して積極的に社会活動に参加できる共生社会の実現。
	他都市の状況	歩道のバリアフリー化は、令和2年度末時点で309の市町村が基本構想を策定している。また、交通事故対策は、国土交通省と警察庁が死傷事故の発生状況に基づき指定する「事故危険箇所」の対策を実施している。通学路の安全対策については、文部科学省と警察庁、国土交通省の要請に基づき通学路の緊急合同点検及び安全対策を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	2,638,710 千円	うち特定財源	1,072,755 千円	正規職員業務量	19 人工
令和5年度予算額	3,441,215 千円	うち特定財源	3,129,062 千円	正規職員業務量	22 人工
令和5年度決算額	2,106,755 千円	うち特定財源	1,830,662 千円	正規職員業務量	15 人工
令和6年度予算額	3,953,000 千円	うち特定財源	3,586,800 千円	正規職員業務量	27 人工

指標	アウトプット活動指標1	歩道バリアフリー化の整備率(令和5年度より対象延長拡大)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		89%	77%	77%	79%	82%	86%
	↓						
	アウトカム成果指標1	まちのバリアフリー化が進んでいると思う市民の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		55%	57%	40%	60%	62%	64%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	アウトカム成果指標については、令和13年度末の75%達成を最終的な目標として取り組んでおり、心のバリアフリーの推進などハード・ソフトの両面からバリアフリー社会の実現を目指す。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	・障がい者団体等の意見を取り入れ、安全・安心な道路環境の実現に向けて歩道のバリアフリー化を進める。 ・未整備の交通事故対策や通学路の安全対策について、引き続き対策を進める。